

豊田市企業版ふるさと納税

企業 × 行政

豊田市はともにミライを拓く
パートナーを募集しています。



こころざしをカタチにする。

企業版ふるさと納税



豊田市
TOYOTA CITY

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

豊田市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

豊田市 企業版ふるさと納税に関するご提案

こころざしをカタチにする。

企業版ふるさと納税 とは…

豊田市の事業に対しご寄附をいただくことで、取組の充実や、企業様と豊田市の新たな関係構築につなげる制度です。

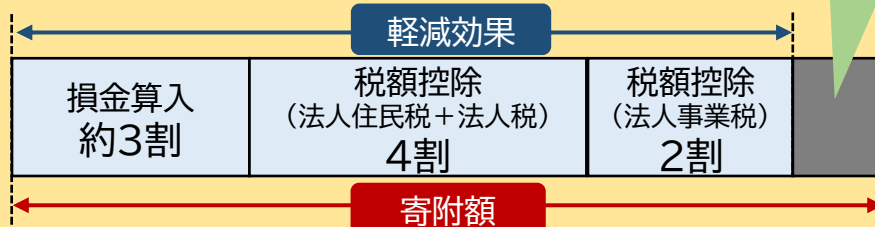
企業のメリット

地方創生への貢献
(CSRの向上)

企業名のPR
(市ホームページでの企業名公表など)

税制優遇

最大税額9割軽減で、企業の実質負担は約1割！



税制優遇を受けながら、社会貢献につなげられます！
(注)豊田市内に本社(主たる事務所又は事業所)が所在する場合は本制度の対象外です。

令和9年度末
まで(予定)※

※令和7年5月時点



豊田市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

〔企業版ふるさと納税制度に関するお問い合わせ〕

魅力創造部
シティプロモーション戦略課

TEL : 0565-34-6761

MAIL : promotion@city.toyota.aichi.jp



【キーワード】山村振興 / 交通安全 / 産業振興

FIA世界ラリー選手権(WRC)を いかした地域まちづくり事業

イチオシ
PICK UP!

関連するSDGsゴール



地域資源の価値を高め、「WRCのまち」豊田市をつくる

事業目的

2022年に12年ぶりに日本で開催されたWRCを2023年、2024年に引き続き、2025年以降も日本で継続開催できるよう豊田市が主催します。

また、「WRCのまち」のシティブランドを構築し、豊田市のまちづくりにいかします。

主な取組内容

- (1)関係者と共に豊田市が競技主催者となり、「FIA世界ラリー選手権 日本大会(WRC)」を開催します。
- (2)WRCをいかして、「山村振興」、「交通安全の推進」、「産業の振興」を図ります。
- (3)モータースポーツで鍛えられた車両の安全性や環境技術が市販車へ反映されることで、クルマの魅力向上へとつなげていきます。



ラリージャパン2024

〔事業担当者コメント〕

WRCは、FIA(国際自動車連盟)が主催している世界耐久選手権(WEC)、フォーミュラー1世界選手権(F1)と並ぶ3大モータースポーツのひとつで、50年の歴史を誇るラリー最高峰の大会です。愛知・岐阜での開催3年目となった2024年は、豊田スタジアムで2台同時走行となる特設の競技コースを設置し、大勢のお客様が日本中から集まりました。今後も豊田市での継続開催を目指し、「WRCのまち」として構築されれば、非常に価値の高い地域資源となります。一緒にWRCに深く関わって頂ける方のご支援をお待ちしています。

〔本事業に関する問い合わせ〕

魅力創造部 ラリーまちづくり推進課
(担当:大中、川合)

TEL : 0565-34-6950
MAIL : rally@city.toyota.aichi.jp

【キーワード】SDGs / 国連 / 国際会議 / まちづくり / 公民パートナーシップ

イチオシ
PICK UP!

日本初！SDGsの国際会議を豊田市で開催！

2025国際首長フォーラム開催支援事業

受付期間：2025年5～9月限定



事業背景・目的・目標

2025年10月中旬に世界各国の市長らが200人以上集まる国際連合主催の国際会議を豊田市で開催します。この会議を通じて、SDGs達成に向けた取組における豊田市の存在感と都市競争力を向上させるとともに、多様なステークホルダーがそれぞれの役割を認識し、SDGs達成に向けた関与を拡充することにより、地域課題の解決を図ります。

主な取組内容

- (1) 国際連合主催の国際会議「2025国際首長フォーラム」の成功に向けて、会議の運営業務、海外からの要人のおもてなし、視察ツアーなどを行います。
- (2) 関連イベントを通じて、「2025国際首長フォーラム」の内容を市民や企業の皆様に知っていただく機会を提供し、SDGsの取組の活性化につなげます。



インドネシアで開催された2024国際首長フォーラム

〔事業担当者コメント〕

2025国際首長フォーラムは、世界各国の市長たちが豊田市に集結し、SDGs達成について議論する大規模な国際会議です。SDGsに取り組まれている企業の皆様にとっては、世界へアピールする絶好の機会となります。ぜひ、豊田市と一緒に2025国際首長フォーラムを成功させ、SDGs達成を加速させましょう！

〔本事業に関する問い合わせ〕

企画政策部未来都市推進課
 (担当：泉川・秋田)

TEL : 0565-34-6982
 MAIL : hybrid-city@city.toyota.aichi.jp

【キーワード】官民連携 / SIB / 介護予防 / 高齢者 / 社会参加

イチオシ
PICK UP!

関連するSDGsゴール



日本最大規模 SIBを活用した官民連携介護予防事業 ずっと元気！プロジェクト

事業背景・目的・目標

高齢者の社会参加機会の拡大を目的に、市内で様々なプログラムを展開する豊田市官民連携介護予防事業「ずっと元気！プロジェクト」を実施しています。本プロジェクトにおいては、従来の介護予防のイメージとして思い浮かぶ運動といった分野だけでなく、趣味や就労といった様々な選択肢を提供することで、高齢者の方の社会参加機会を増やすとともに、「いきがい」「楽しみ」「幸せ」を感じていただくことを目指しております。

主な取組内容

ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)※の仕組みを活用し、介護予防に資する社会参加プログラムを様々な事業者が提供するプラットフォームを構築し、高齢者へ運動のみならず、趣味、エンタメなど様々な分野の介護予防プログラムを提供(58事業所/134プログラム)します。



ずっと元気！プロジェクトに参加している高齢者の様子



〔事業担当者コメント〕

ずっと元気！プロジェクトは超高齢社会への適応を目指して、全国初の大規模SIB事業として実施します。本プロジェクトは国内外からの関心が高く、また外務省のVNRへも取り上げられました。地域の笑顔と、安心して暮らせる持続可能な地域社会を、共に支えていただける事業者の皆様からのご支援を、お待ちしております。

〔本事業に関する問い合わせ〕

企画政策部未来都市推進課
(担当:三俣・植田)

TEL : 0565-34-6982
MAIL : hybrid-city@city.toyota.aichi.jp

【キーワード】産業振興/オープンイノベーション/スタートアップ/新事業創造/起業・創業支援/人材育成

ものづくり創造拠点SENTANから生みだす オープンイノベーションとスタートアップ

R7新規掲載!

関連するSDGsゴール



豊田市の産業は、深化し続ける！！

事業背景

本市の基幹産業である自動車産業を取り巻く環境は、急激に変化しています。
こうした時代の変化を生かして、新たなビジネスチャンスを生み出すことが求められており、市内の産業が更に深化していくためには、新たなチャレンジを強力に後押しすることが必要です。

主な取組内容

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| (1)新規事業創出プログラム「SPARK」 | (2)アクセラレータープログラム |
| (3)SENTANエコシステム構築 | (4)ものづくりミライ塾 |
| (5)次世代航空モビリティ産業振興 | (6)次世代航空モビリティ協業ネットワーク推進 |
| (7)DXモデル事例創出 | (8)ものづくり創造補助金 |



画像提供：株式会社SkyDrive

〔事業担当者コメント〕

「ものづくり創造拠点SENTAN」では、市内企業の新事業展開やイノベーション創出支援、ものづくり人材育成のほか、空飛ぶクルマを開発する㈱SkyDriveなどのスタートアップを支援し、新産業の創出にも力を入れ、豊田市産業の持続的成長・発展を目指しています。

令和6年度から愛知県のオープンイノベーション拠点「STATION Ai」に入居し、さらに取組を推進していきます。豊田市の産業が、これからも深化を続けるため、様々な面からご支援いただける事業者を募集しています。新たな事業、新たな産業を生みだすきっかけを、御社から!!!

〔本事業に関する問い合わせ〕

産業部次世代産業課

(担当: 中根・畠中)

TEL : 0565-47-1250
MAIL : monozukuri-sozo@city.toyota.aichi.jp

【キーワード】スポーツ/スポーツツーリズム/名古屋グランパス/トヨタヴェルブリッツ

R7新規掲載!

トップスポーツチームと連携した地域まちづくり事業

関連するSDGsゴール



トップスポーツチームと連携し、「スポーツのまち」豊田市をつくる

事業背景・目的・目標

豊田市では、本市と相互支援協定を締結している「名古屋グランパス」や「トヨタヴェルブリッツ」を始めとするトップスポーツチームと連携し、様々なまちづくり事業に取り組んでいます。

魅力溢れるトップスポーツチームと連携し様々な事業を推進することで「スポーツのまち」豊田市を目指しています。

主な取組内容

- (1) トップスポーツチームと連携して、豊田市の地域課題などの解決に向けて取り組みます。
- (2) チームを応援する気運醸成やチームと連携してイベントなどを実施します。
- (3) 市民の誰もがトップスポーツを観戦できる機会を創出します。
- (4) 楽しく快適な観戦空間を提供できるよう、豊田スタジアムの魅力向上に取り組めます。

〔事業担当者コメント〕

「トップスポーツチームと一緒に考え、取り組んでいる事業です！」
 トップスポーツチームが身近にあることは本市の魅力です。寄附でのご支援により、事業の推進、発展を後押ししていただくのはもちろん、寄付者の皆様からの、課題解決に向けた新たな視点・知見や、様々なご提案にも期待しています。ぜひ「スポーツ」を通じて豊田市とともに、地域まちづくりにチャレンジしませんか。



ユニフォームに市のロゴが入っているトヨタヴェルブリッツ

〔本事業に関する問い合わせ〕

魅力創造部 観光誘客推進課

(担当: 原田・小林)

TEL : 0565-34-6758

MAIL : kankou@city.toyota.aichi.jp

魅力創造部 スポーツ振興課

(担当: 宇佐美)

TEL : 0565-34-6632

MAIL : sports-shisetsu@city.toyota.aichi.jp

【キーワード】歴史 / 文化 / 山城 / 観光

R7新規掲載!

歴史文化資源をリブランディング！ 豊田市の魅力を活かした新たな観光コンテンツ創出事業

関連するSDGsゴール



山城等の魅力ある歴史文化資源の価値を再構築し、
幅広い世代が楽しめる観光コンテンツ等を創出します！

事業背景・目的・目標

豊田市には、山城をはじめ、地域で古くから守られ、育まれてきた歴史文化資源が多く点在しています。こうした資源を維持・磨き上げるとともに、新たな魅力を再認識し、認知を広めることで、価値の再構築を図っていきます。

豊田市ならではの観光コンテンツを創出し、市内外からの集客を目指します！

主な取組内容

- (1)山城を中心とした歴史文化を活かしたイベント等を実施します。
- (2)歴史文化の価値を再構築し、新たなファンを惹きつける取組や情報発信を実施します。
- (3)観光客を受け入れるための環境整備等を実施します。

〔事業担当者コメント〕

豊田市には松平氏遺跡(国指定史跡)を構成する大給城をはじめ、100以上の山城が点在していることをご存じですか？

今後、こうした歴史文化資源を活用し、地域の垣根を超えた全市的な誘客や周辺環境整備などを推進していきたいと考えています。寄附での御支援により、豊田市ならではの観光コンテンツの創出やプロモーションなどの後押しをしていただきたいと思います。御協力をよろしくお願いいたします。



真弓山(標高301m)に位置する足助城

〔本事業に関する問い合わせ〕

魅力創造部 観光誘客推進課
(担当:小柴・藤堂)

TEL : 0565-34-6758

MAIL : kankou@city.toyota.aichi.jp

【キーワード】 市民活動 / 社会貢献活動 / 共働・協働 / まちづくり / なんかつながる

R7新規掲載!

共働によるまちづくり！市民活動促進事業

関連するSDGsゴール



より良い社会を目指す市民活動の担い手を応援してください！

事業背景・目的・目標

豊田市では多くの市民活動団体が多様な主体とつながり合いながら活躍しています。そのような市民活動の担い手がより増えること、また、市民活動団体の活躍の場がより拡充され、発展していくことで、「共働によるまちづくり」を目指しています。

主な取組内容

- とよた市民活動センターがより使いやすく、より多様な主体がつながり合うことができるよう、環境整備に取り組みます。
- 多様な主体がつながり合うことができるような仕組みづくりに取り組みます。
- 特に若い世代に注目し、活動のきっかけが持てるような仕掛けを創出します。



青少年育成・多文化共生活動



環境保全活動



保健・医療・福祉の増進活動



青少年育成・防災活動

〔事業担当者コメント〕

豊田市の「共働」は多様な主体それぞれの活動を認め合い、共により良い社会を目指すという思いが込められています。とよた市民活動センターはその「共働」の拠点施設です。社会貢献活動として何かしたいと考えている企業の皆様の思いを形にするお手伝いもしています。わたしたちと一緒に、豊田市の「共働によるまちづくり」にチャレンジしませんか。

〔本事業に関する問い合わせ〕

地域活躍部地域交流課
とよた市民活動センター（担当：加藤・近藤）

TEL : 0565-36-1730
MAIL : tec@city.toyota.aichi.jp

【キーワード】子ども / 少人数教育 / ICT教育

生き抜く力を育む学校教育の推進

関連するSDGsゴール



ミライを担う次世代の「確かな学力」を育む

事業目的

少人数学級の実施やICT活用に取り組み、授業が分かり、学校に行くのが楽しいと思う子どもたちが増えることを目指します。児童生徒の学びや経験を深めることで、社会が激しく変化する中で能動的・主体的な力を発揮できる子どもたちの育成を目指します。

主な取組内容

- (1)市独自の少人数学級の実施、非常勤講師・補助員・非常勤養護教諭の配置等を行い、子どもたち一人ひとりに寄り添ったきめ細かな教育を推進します。
- (2)ICT環境を整備するとともにICTを活用した授業づくりを行い、個別最適な学びと協働的な学びを推進します。



学習用タブレットの活用の様子

〔事業担当者コメント〕

教育を取り巻く社会状況が激変する中で、学校教育はこれまでにない変革の時を迎えています。この変革を、子どもたち一人ひとりの可能性を最大に引き出すこと、そして子どもたちが自分と社会の明るい未来を切り拓くことにつなげていきたいと考えています。

教育のデジタルトランスフォーメーション及び一人ひとりに寄り添ったきめ細かな教育の推進は、変革の切り札です。子どもたちと共に未来の扉を開きます。

〔本事業に関する問い合わせ〕

教育部 学校教育課
 (担当:上坂)

TEL : 0565-34-6661
 MAIL : gakkou_k@city.toyota.aichi.jp

【キーワード】 まちづくり / 地域活性化 / 観光 / こどもの学び / 資源の循環 / 国の重要文化財

100年に1度の^{よみがえ}大修理で甦る!! 重要文化財 旧鈴木家住宅復活プロジェクト

時を経てもなお、多世代で集える重要文化財の活用を目指して。

関連するSDGsゴール



事業背景・目的・目標

歴史ある足助の町並みの中心部に位置し、かつて足助一の商家として栄えた「紙屋」鈴木家。その鈴木家が暮らした江戸時代から明治時代にかけて建造された16棟もの建物は、平成25年に国の重要文化財に指定されました。現在は、この文化的価値の高い建物を日本の未来に伝えていくための保存修理工事を進めています。

主な取組内容

- (1) こどもたちに質の高い教育環境を提供するための、施設整備に取り組みます。
- (2) 足助の町並みをより魅力あるまちにしていくための、空間づくりに取り組みます。
- (3) 文化財の活用に必要な活路を見出すための挑戦に、皆さんと共に取り組みます。

〔事業担当者コメント〕

近年、文化財の活用は内閣府や文化庁などの組織をはじめ、国を挙げて取り組むべきものとして、試行錯誤が行われています。放っておけば、日々失われていく文化財建造物が多い社会情勢のなかですが、未来を担うこどもたちが「先人たちが築きあげてきたもの」に学ぶ機会をつくっていくことができるかどうかは、現在を生きる大人たちの手にかかっています。ぜひ豊田市と共働で、これまでにない国指定重要文化財の活用事例を一緒につくりあげていきましょう!!



旧街道から見た旧鈴木家住宅の景観

〔本事業に関する問い合わせ〕

美術・博物部 文化財課足助分室
(担当: 森・安江)

TEL : 0565-62-0609

MAIL : bunkazai-asukebunshitsu@city.toyota.aichi.jp

【キーワード】脱炭素 / 再生可能エネルギー / 産業振興 / 脱炭素経営 / モビリティ / 教育

脱炭素プロジェクト

関連するSDGsゴール



省エネ、創エネ、蓄エネで、脱炭素社会を実現する

事業背景・目的・目標

- (1) 産業発展と両輪で、脱炭素社会の実現を目指します。
- (2) 脱炭素社会実現に向け、再エネ、次世代自動車の普及を目指します。

主な取組内容

- ①再エネ地産地消 ②スマートハウス普及 ③次世代自動車普及
- ④環境学習施設eco-T ⑤次世代自動車充電インフラ
- ⑥新エネルギー活用促進補助金 ⑦設備投資奨励金(脱炭素)
- ⑧脱炭素経営スクール ⑨人工林健全化 ⑩先進技術実証
- ⑪水素導入普及促進



豊田市における脱炭素社会実現を目指した取組

〔事業担当者コメント〕

脱炭素実現に向けた様々な政策を実施しています。産業、運輸、業務、家庭の脱炭素化支援と、森林吸収源の最大化、先進技術の開発支援など、豊田市の地域特性を踏まえた脱炭素化の取組を推進しています。

脱炭素化は行政だけで実現できるものではなく、市民、企業の皆さまと連携して取り組む必要があります。豊田市と共に、脱炭素社会実現に向けた取組みを実践し、発信しましょう！

〔本事業に関する問い合わせ〕

環境部 環境政策課
(担当: 志村・山井)

TEL : 0565-34-6982
MAIL : hybrid-city@city.toyota.aichi.jp

【キーワード】 山村振興 / 高齢者支援 / モビリティ / コミュニティ

里モビLIFEプロジェクト

関連するSDGsゴール



山里における自由・安全・安心な移動をつくる

事業目的

公共交通機関が限られた山里において、高齢者ができるだけ長く、自らの意思で、自由に、安全に、安心に移動できる社会を実現し、ひとりひとりの生涯の生活の質を高め、持続可能な地域社会を目指します。

主な取組内容

- (1)車の運転に不安を抱えている方を対象に、山里で使いやすいよう工夫した超小型モビリティ「里モビ」をリースすることで、移動の支援に取り組みます。
- (2)「里モビ」に乗って出かけるツアー等を企画し、「移動できること」に加えて「でかけること」や「集まること」といったコミュニティの活性化に取り組みます。

〔事業担当者コメント〕

里モビLIFEプロジェクトは、都市部のシェアリングサービスで使用されていた超小型モビリティを、山村地域での新たな交通手段として活用しています。

都市と山村をつなぎながら、高齢者の安全安心な移動と健康を守るこの取組は全国的にも珍しく、過去には国土交通省の交通政策白書等でも取り上げられています。

地域の笑顔と、安心して暮らせる持続可能な地域社会を、共に支えていただける事業者の皆様からのご支援を、お待ちしております。



「里モビ」の写真

〔本事業に関する問い合わせ〕

企画政策部 未来都市推進課
 (担当:大橋・中村)

TEL : 0565-34-6982
 MAIL : hybrid-city@city.toyota.aichi.jp

【キーワード】森林環境保全 / 出前講座 / ボランティア活動支援

森林環境教育・ボランティア活動支援事業

関連するSDGsゴール



～持続可能な共働による森づくり～

事業背景・目的・目標

- (1) 森林の大切さについて市民等の理解を促し、「森の応援団」を増やすことで、持続可能な森づくりを目指します。
- (2) より多くの市民等への理解につなげるため、企業等の森林に関わる活動や学校教育との連携を図り、共働による森林環境教育の実現を目指します。

主な取組内容

- (1) 「とよた森林学校」講座の開催に加え、企業等の森林に関わる活動の発信、支援を行います。
- (2) 学校教育活動と連携した出前講座を開催します。
- (3) 間伐ボランティアの活動等を支援します。
- (4) 森づくり月間(10月)を中心としたイベント等を実施します。

〔事業担当者コメント〕

森林環境教育・ボランティア活動支援事業は、持続可能な森づくりを進める上で、将来の森づくりに必要不可欠なものです。寄附でのご支援はもちろんのこと、社会貢献活動の一環として森林環境教育につながる講座等を実施いただける事業者も募集しています。ぜひ豊田市とともに、持続可能な森づくりにチャレンジしませんか。



間伐ボランティア初級講座(豊田市主催)

〔本事業に関する問い合わせ〕

産業部 森林課
 (担当:梅村・深見)

TEL : 0565-62-0602
 MAIL : shinrin@city.toyota.aichi.jp

【キーワード】 山村振興 / いなか暮らし / 公民パートナーシップ

都市と山村の共生推進事業

関連するSDGsゴール



「いなか」と「まち」が支えあって豊かになるミライをつくる

事業目的

企業・人・地域、それぞれが持つ強みやニーズを持ち寄り、「いなか」と「まち」が支えあって暮らしを楽しむことで豊かな社会の実現を目指します。

主な取組内容

(1)都市と山村をつなげる中間支援組織「おいでん・さんそんセンター」が、企業・人・地域をマッチングし、それぞれの強みを持ち寄った、地域の課題解決等に向けた具体的なアクションをコーディネートします。

(2)「いなか暮らし総合窓口」を運営し、移住希望者へのプロモーションや、移住希望者の住まい・暮らし等に関する総合的な相談の受け入れを実施します。



企業研修を兼ねた地元地域との「耕隆ファーム」

〔事業担当者コメント〕

豊田市は、2005年の合併により、都市部と山村部が共存する多様性豊かな都市となりました。それにより、都市と山村それぞれの特色を生かすことができる豊田市独自の山村振興を進める強みとなり、これまで約300件の様々なマッチング・コーディネートを実現してきました。

寄附による活動のご支援だけでなく、実際にフィールドに入り、活動してくださる企業様也大歓迎です。ぜひ我々とともに、持続可能な地域づくりに向けたチャレンジに取り組みましょう！

〔本事業に関する問い合わせ〕

地域活躍部 総合山村室
 (担当: 大平・金川)

TEL : 0565-62-0610
 MAIL : sanson@city.toyota.aichi.jp

【キーワード】山村振興 / 観光 / 産業振興 / 地域おこし

香嵐溪100年プロジェクト事業

関連するSDGsゴール



紅葉の名所「香嵐溪」をミライに引き継ぐ

事業背景・目的・目標

香嵐溪が整備後100年を迎えるにあたり、生育環境の悪化や樹勢の低下が懸念されています。そこで、「もみじ」の景観の質の維持・向上を図るとともに、100年先まで地域資源のひとつとして継承されるための仕組み作りを目指しています。

主な取組内容

- (1) 樹木整備、散策路や休憩施設等のハード整備を行います。
- (2) ハードの利活用、里親募集等の資金調達及び関係人口の増加に向けた取組み、住民主体のソフト事業等を行います。
- (3) 行政、住民の協働による樹木、林床の維持管理を行います。

〔事業担当者コメント〕

香嵐溪は、11月のもみじまつり期間にはおよそ45万人の観光客が訪れますが、もみじの老木化、担い手不足など、様々な課題を抱えています。

寄附による活動のご支援だけでなく、プロジェクトへの参加も大歓迎です。紅葉の名所である香嵐溪に関わっていただける方をお待ちしています。



東海地方屈指の紅葉の名所「香嵐溪」

〔本事業に関する問い合わせ〕

地域活躍部 足助支所

(担当: 吉井・西村)

TEL : 0565-62-0601

MAIL : asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp

【キーワード】山村振興 / 地域おこし / 観光 / 旭地区 / コミュニティ

「旭高原元気村」施設再整備事業

関連するSDGsゴール



旭高原の豊かな自然のなかで最高のアウトドア体験を

事業目的

旭地区を象徴する観光スポットのひとつである「旭高原元気村」の魅力を一層高めることで、地域内外からの観光・交流を生み出し、旭地区全体の活性化につなげます。

主な取組内容

整備から年数を経て劣化した施設の修繕や備品の更新、ニーズを踏まえた環境整備を行います。



旭高原元気村 コッキースイグ(整備か所ではありません)

〔事業担当者コメント〕

昭和29年に村営の牧場としてスタートした旭高原は、時代とともに姿を変えながら、住民はもとより地域外の人々からも親しまれてきました。高原ならではの見晴らしや満天の星空のもと、年間を通じてキャンプやバーベキューが楽しめるほか、冬の雪そり滑りには、たくさんのお子様連れがいらっやいます。昨年度はキャンプの水回り施設やスノーマシン(造雪機)をリニューアルしました。より快適に楽しんでいただける施設に向けて、ぜひお力添えをお願いします。

〔本事業に関する問い合わせ〕

地域活躍部 旭支所

(担当: 安藤・藤谷)

TEL : 0565-68-2211

MAIL : asahi-shisho@city.toyota.aichi.jp

【キーワード】スポーツ/地域スポーツクラブ/スポーツ教室/人生100年時代/生き生き/夢・希望

地域スポーツクラブによる地域スポーツ推進事業

関連するSDGsゴール



アスリート等を派遣し、地域でスポーツを楽しむ機会を創出！

事業背景・目的・目標

本事業は、地域スポーツクラブが担う地域スポーツの推進において、アスリートや専門家を派遣することで、様々な世代がスポーツに親しみ、スポーツを通じて楽しく健康で生き生きと活躍し、まちの活性化につながることを目的とします。

主な取組内容

- (1)小学生を対象とした「走り方教室」の実施
- (2)園児を対象とした「こどもの運動遊び教室」の実施
- (3)市内企業や大学等と連携したイベント事業及び各種教室事業の実施



陸上男子100mの元日本記録保持者、青戸慎司氏(中京大学)による小学校での「走り方教室」の様子

〔事業担当者コメント〕

人生100年時代。健康寿命の延伸はもとより、全ての世代が生涯を通じて生き生きと輝ける社会の実現が望めます。地域スポーツクラブは、そうした社会を実現していくための有効な役割を担うひとつです。オリンピックやパラリンピアンが多く在籍する市内企業・大学等と連携しながら、様々な世代がスポーツに親しみ、スポーツを通じて楽しく健康で生き生きと活躍できるまちを目指します。ぜひ、ご支援・ご協力をお願いします。

〔本事業に関する問い合わせ〕

魅力創造部 スポーツ振興課
 (担当: 藤村・大森)

TEL : 0565-34-6632
 MAIL : sports@city.toyota.aichi.jp

【キーワード】 公共交通 / 高齢者支援 / 福祉 / 健康 / 生きがい / 運転免許証返納

おいでんバス乗り放題！ 「おでかけパス70」推進事業

おでかけパス70で、高齢者の生きがいや健康づくりを応援する

事業背景・目的・目標

おでかけパス70は、豊田市在住で70歳以上の方ならどなたでも購入できます。中心市街地から山間部までを繋ぐ、おいでんバス全12路線が定額で乗り放題となります。おでかけパスの利用により、高齢者の外出する機会を増やし、生きがいや健康づくりの促進を目指します。また、車に乗らなくても生活できる環境づくりを推進することで、高齢者のバス利用を促進し、交通事故の減少を目指します。

主な取組内容

- (1) 出前講座(おいでんバスの乗り方教室)を開催し、健康につながる「かしこいバスの使い方」について、おでかけパスのPRと併せて高齢者などへお伝えしています。
- (2) 運転免許証更新時のチラシ配布など、おでかけパス70の販売促進を行っています。

〔事業担当者コメント〕

誰でも自由に移動することができる社会の実現に向けて、高齢者を対象に、おいでんバスの定額乗り放題を実施しています。バスに乗ることは、意外にも歩くことにもつながっており、健康の増進が期待できるほか、人との交流機会が増えることにより、生きがいづくりの促進にも寄与しています。また、高齢者が安心してバスを利用できるようになれば、運転免許証の返納を後押しすることができ、結果的に高齢者の交通事故の抑制に繋がります。ぜひ御支援をお願いします。

関連するSDGsゴール



「おいでんバス」の写真

〔本事業に関する問い合わせ〕

都市整備部 交通政策課
(担当:長谷川・目崎)

TEL : 0565-34-6603
MAIL : koutsu@city.toyota.aichi.jp

【キーワード】相互理解 / 意思疎通 / 福祉 / 障がい / 手話 / 点字 / 要約筆記 / コミュニケーション支援

障がい理解と意思疎通の推進事業

関連するSDGsゴール



誰もが自分の意思を伝え合える豊田市を目指します！

事業背景・目的・目標

誰もが安心して自分らしく生きられる社会(地域共生社会)の実現を目的とし、障がい者など配慮を必要とする人への理解を深め、お互いに意思を伝え合える豊田市を目指します。(豊田市は、障がいの特性、言語、文化等のちがいがから生じる隔たりの解消を図っていくために、令和3年4月に「相互理解と意思疎通に関する条例」を制定しています。)

主な取組内容

- (1)心のバリアフリー推進講座を開催し、障がいに関する理解促進に取り組みます。
- (2)手話通訳、音訳・点訳等に親しむ機会を創出し、意思疎通の人づくりに取り組みます。
- (3)コミュニケーション支援ボードやICT機器を活用し、意思疎通の環境整備に取り組みます。

〔事業担当者コメント〕

障がいがある人もない人も分け隔てなく、誰もが安心して自分らしく生きられる社会の実現に向けて、全市を挙げて取り組んでいます。お互いのちがいを認め合い、一人ひとりがどんな配慮ができるかを考え、行動することで、多くの笑顔が生まれると思います。

「誰一人取り残さずに情報を伝える豊田市」、「配慮を必要とする人も自分の意思を伝えられる豊田市」を目指し、取組を進めていきます。ご支援いただける事業者様を募集しています。



市民向け手話教室



市民向け点字教室

〔本事業に関する問い合わせ〕

福祉部 障がい福祉課

わたらい とやま

(担当:度會・外山)

TEL : 0565-34-6751 FAX : 0565-33-2940

MAIL : shougai_hu@city.toyota.aichi.jp

【キーワード】地域共生/社会参加/多様性/生きがい/居場所づくり

多様な方の社会参加を応援するプロジェクト



関連するSDGsゴール



認知症や障がいなどがあっても社会で役割があり続けるために！

事業目的・趣旨

- 私たちが自分らしく暮らすためには、様々な形で社会に役割があり、参加し続けることが大切です。認知症や高齢になっても、障がいがあっても、みんな同じです。
- そのため、このプロジェクトでは、コーディネーターの支援のもと、市内の福祉事業所や企業、農家などが居場所や作業等の機会を提供するなどを通じて、認知症や障がい、不登校、生活困窮等の様々な方々が役割を担い、自分らしく社会に参加することを応援しています。

主な取組内容

- (1) 市民の方からの相談を受け、その方の特性等に応じた必要な支援と併せて、プロジェクト会員の事業所が提供できる場所や活動を社会参加の機会として、提供します。
- (2) 若年性認知症などの方と事業所の「はたらく場」が上手くつながるように、仕事の切り分けや作業補助具の提案、その方の特性を知るなどの事業所側へのお手伝いを行います。

〔事業担当者コメント〕

分野を超えた多様なヨコ連携により運営される『とよた多世代参加支援プロジェクト』は、事業者同士の交流・情報交換も盛んに行われ、楽しく活動しています。寄付によるご支援だけでなく、会員となってプロジェクトに参加していただける事業者也大歓迎です。ぜひ、ご協力をお願いします！



福祉事業所合同で地域の仕事(地域の困りごと)に取り組む様子

〔本事業に関する問い合わせ〕

福祉部よりそい支援課 (担当: 下田・福山)

TEL : 0565-34-6791

MAIL : yorisoi@city.toyota.aichi.jp

(認知症の方の社会参加に関すること)

福祉部高齢福祉課 (認知症・包括担当)

TEL : 0565-34-6984

MAIL : korei-fukushi@city.toyota.aichi.jp